

第 95 期中間株主通信

2020.4.1 ▶ 2020.9.30

NIRECO

証券コード：6863

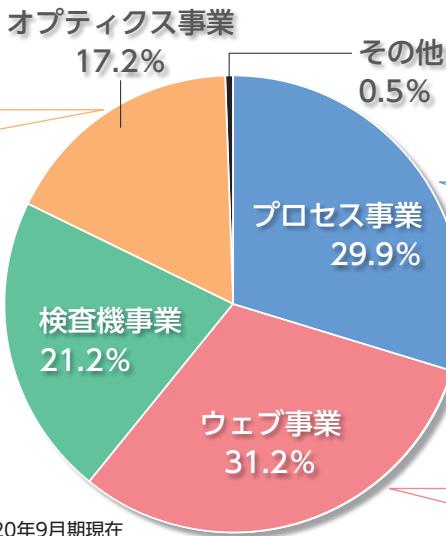
制御・検査装置のパイオニア

ニレコは「技術と信頼」の理念の下、様々な分野で貢献してまいります。

売上構成

半導体検査装置等で使用される光学部品や、レーザー機器を主に取り扱う事業

電子機器材料から農産物に至るまで幅広い製品を対象とした検査装置を取り扱う事業



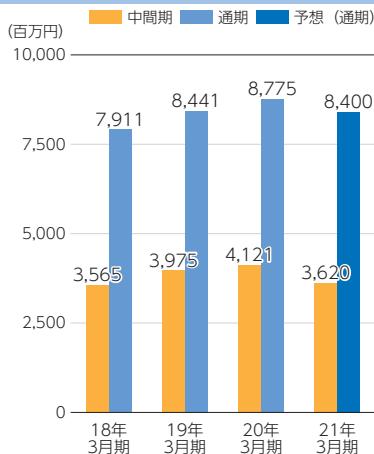
鉄鋼・非鉄金属の生産ラインを主な対象とする制御装置や計測装置を取り扱う事業

製紙・印刷から電子機器材料まで広範な業種を対象に、シート状製品の位置制御装置などを取り扱う事業

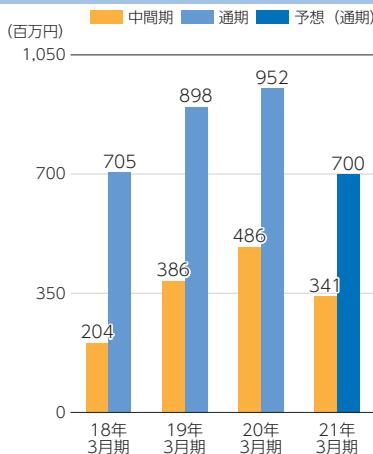
20年9月期現在

業績ハイライト

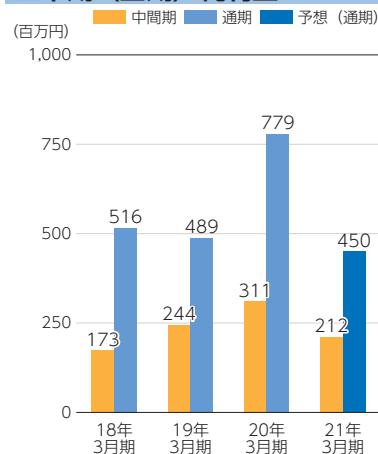
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



当上期は新型コロナウイルス感染症の影響などにより前年同期比で売上高、各利益項目ともに下回る厳しい状況ではあったものの、業務効率化などコストの削減に努め、各利益項目共に期初に公表した予想値を上回る結果となりました。中間配当金は10円とさせていただきます。



代表取締役社長 久保田 寿治

●当上期を振り返って

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年9月30日をもちまして終了しました第95期上期の業績結果をご報告申し上げます。

当上期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた社会経済活動の停滞による大きな落ち込みと、経済活動の再開による持ち直しの動きが見られました。わが国においても、新型コロナウイルス感染症の拡大により、企業活動や消費動向に大きな影響が生じました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先である鉄鋼、電子部品、化学、半導体、印刷・紙加工、食品など各メーカーの設備投資は、経済活動が停滞する中、慎重な姿勢で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、いかなる環境下においても成長できる体制の実現を目指し、当社グループのコア技術である画像処理、センシング及び光学技術の強化に努めるとともに、費用の抑制を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,620百万円（前年同期比12.2%減）、営業利益341百万円（前年同期比29.9%減）、経常利益335百万円（前年同期比33.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益212百万円（前年同期比31.5%減）となりました。また、受注残高は3,144百万円（前期末比6.6%減）となりました。

●当下期の見通しについて

当下期の見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ世界経済の回復状況や米中間の摩擦による経済への影響など不透明な状況が続いているものの、徐々に回復の動きがみられるものと想定しています。わが国経済においても、上期に落ち込んだ企業業績や個人消費は底打ちし、回復へ動き出すものと考えております。

このような見通しの下、当社グループは、いかなる環境下においても成長できる体制の実現を目指して、当社グループのシナジーを最大限発揮し、「市場の拡大」、「技術の進化」、「経営体質の強化」の重点テーマ推進に引き続き全力で取り組んでいきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

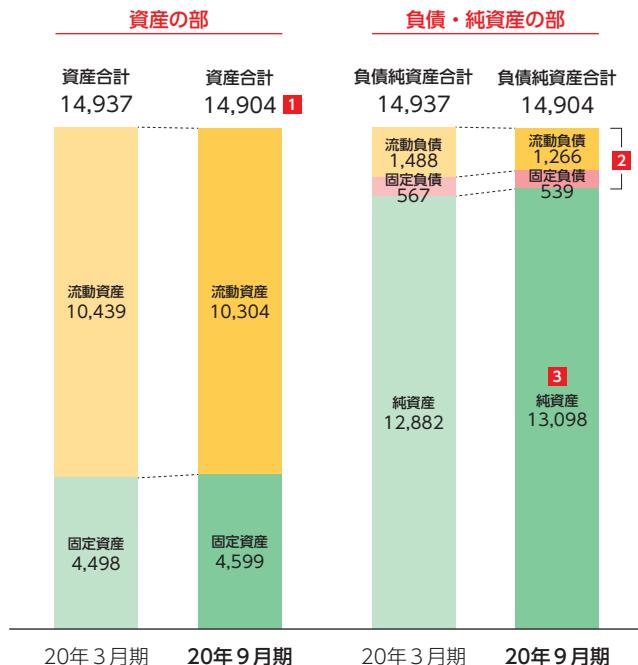
2021年3月期連結業績予想

（単位：百万円）

	金額	前期比
売上高	8,400	△4.3%
営業利益	700	△26.5%
経常利益	700	△29.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	450	△42.3%

連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表 (単位：百万円)



Check Point

1 資産

14,904百万円 (前期末比△33百万円)

売上債権の減少などにより、14,904百万円となりました。

2 負債

1,805百万円 (前期末比△249百万円)

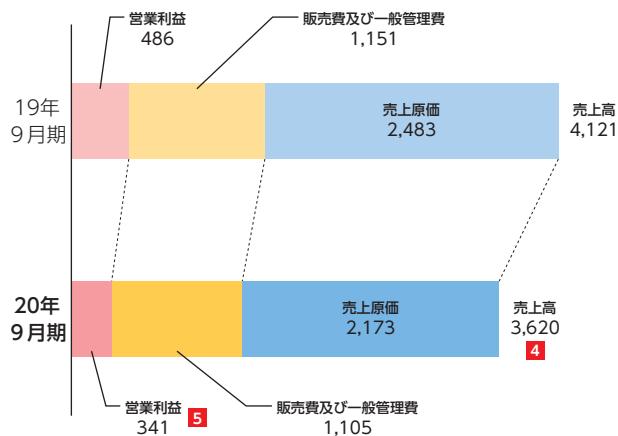
未払法人税・消費税等の減少などにより、1,805百万円となりました。

3 純資産

13,098百万円 (前期末比+216百万円)

親会社株主に帰属する四半期純利益やその他有価証券評価差額金の増加などにより、13,098百万円となりました。

第2四半期連結損益計算書 (単位：百万円)



4 売上高

3,620百万円 (前年同期比△501百万円)

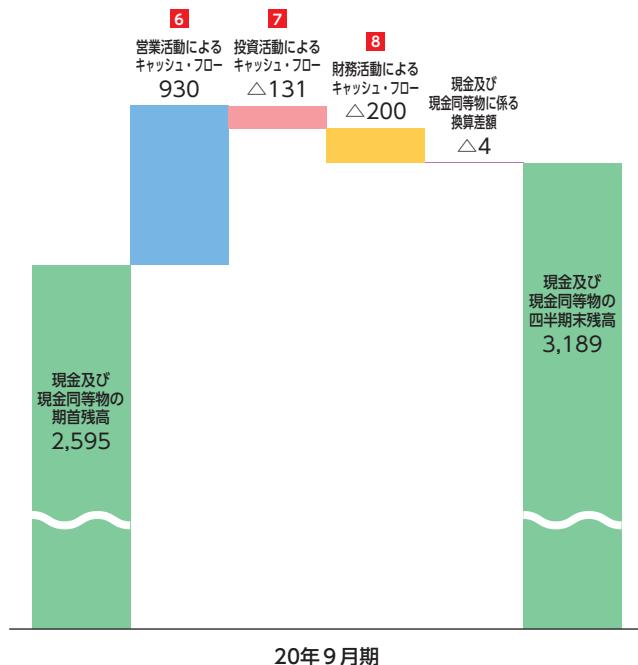
新型コロナウイルスの影響による社会経済活動の停滞により、売上高は前年同期を下回る3,620百万円となりました。

5 営業利益

341百万円 (前年同期比△145百万円)

プロセス事業、ウェブ事業は減益となったものの、検査機事業、オプティクス事業は増益となり、341百万円となりました。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



Check Point

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

930百万円 (前年同期比+543百万円)

利益の計上、売上債権の減少などの要因により、930百万円となりました。

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

△131百万円 (前年同期比△42百万円)

固定資産の取得などにより、△131百万円となりました。

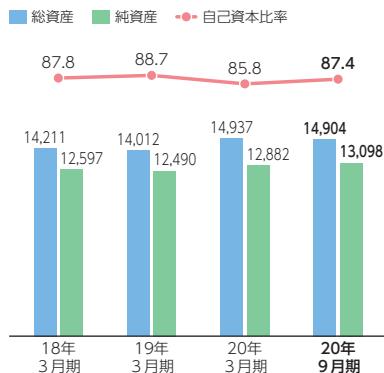
8 財務活動によるキャッシュ・フロー

△200百万円 (前年同期比+73百万円)

長期借入金の返済、配当金の支払などにより、△200百万円となりました。

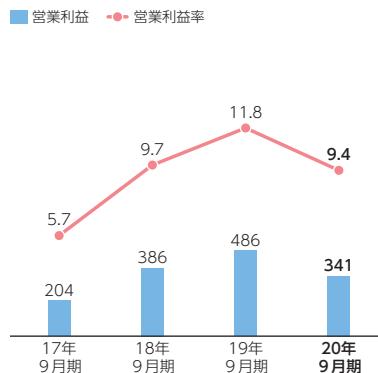
総資産、純資産及び自己資本比率

(単位：百万円、%)



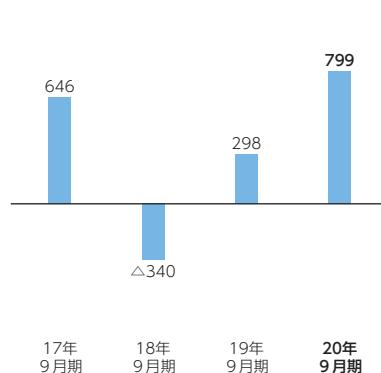
営業利益、営業利益率

(単位：百万円、%)



フリー・キャッシュ・フロー

(単位：百万円)



グリーンレーザHR-G10用オプション「マーキング用スキャナユニット」

当社は、グリーンレーザ「HR-G10」のカスタムオプションとして、マーキング用スキャナユニットの販売を開始しました。

光学系の最適化により、ハイパワーな10Wクラスのグリーンレーザにもかかわらず、コンパクトなA4サイズのヘッドサイズを実現いたしました。装置への組み込みが容易なサイズとしたことにより、グリーンレーザを用いたレーザーマーキング活用の幅を広げます。

印字が難しい金属素材の他、樹脂、ウェハなど多種多様な対象物へのハイパワーかつ高速な微細加工を可能とします。



▲グリーンレーザHR-G10
マーキング用スキャナユニット



◀スキャナユニット
で作成した2次元
バーコード

デスクトップ型「近赤外分光アナライザA8850」

近赤外アナライザは、対象の成分を非接触・非破壊で迅速に測定できるため、農業や食品産業、医薬品や化学プラントなどのケミカル産業における研究開発分野や生産分野で幅広く活用されています。

当社は、これまでに培った知見をもとに独自の近赤外分光アナライザを開発いたしました。近赤外分光アナライザA8850は、可視領域の400nmから近赤外領域の2500nmまでの幅広い波長領域に対応しながら、従来のハイエンド近赤外分光装置に比べ大幅な価格低減を図り、高いコストパフォーマンスを実現しました。



▲近赤外分光アナライザA8850



◀A8850による
大豆の測定

株式の状況

株式の状況 (2020年9月30日現在)

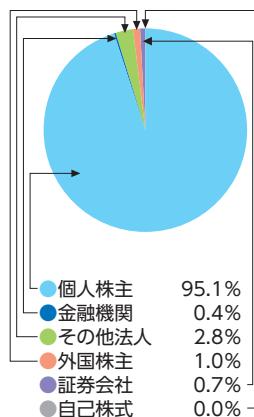
発行可能株式総数： 39,400,000株
 発行済株式の総数： 8,305,249株
 株主数： 2,178名
 大株主：

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ニレコ取引先持株会	547	7.5
極東貿易株式会社	469	6.4
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 日本製鉄退職金口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	413	5.7
株式会社きらぼし銀行	364	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	288	3.9
ニレコ従業員持株会	273	3.7
浅井美博	240	3.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	216	3.0
株式会社ヒラノテクシード	177	2.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	161	2.2

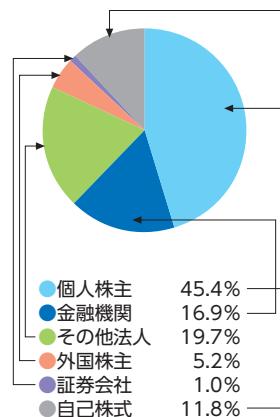
(注) 上記以外に、当社は自己株式975,495株を保有しております。なお、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

●株主数



●保有株式数



会社情報

会社の概要 (2020年9月30日現在)

商号：株式会社ニレコ
 英文商号：NIRECO CORPORATION
 本店所在地：東京都八王子市石川町2951番地4
 設立：1950年11月
 資本金：3,072百万円

役員 (2020年9月30日現在)

会社における地位	氏名	担当又は主な職業
代表取締役社長 ※1	久保田 寿 治	CEO
取締役 ※1	碓 光 司	管理部門長
取締役 ※1	三 浦 誠	尼利可自动控制机器(上海)有限公司董事長 Nireco Process Korea Co., Ltd. 社長
取締役監査等委員 ※2	中 野 厚 徳	
取締役監査等委員 ※2	橋 本 光 男	
取締役監査等委員 ※2	佐 藤 順 一	

※1 執行役員を兼任しております。

※2 会社法に定める社外取締役です。

執行役員 主な担当
 藤原 利之 仁力克股份有限公司董事長兼SCM部門長
 小林 正明 開発部門長
 浅川 直仁 検査機事業部長兼ミヨタ精密株式会社取締役
 佐々田卓也 プロセス事業部長
 中村 洋三 ウェブ事業部長

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月下旬
定時株主総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日

法定公告は次のURLに掲載しております。

<http://www.nireco.jp/ir/notice/index.html>

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

○郵便物送付及び電話照会先
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **6863**

 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

 ※本アンケートは、株式会社 a2media (エーツーメディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

ホームページのご案内

<https://www.nireco.jp>

トップページ



IRページ



最新ニュースをはじめ業績報告や会社情報などを詳しくご案内しております。

株式会社ニレコ

〒192-8522 東京都八王子市石川町2951番地4
電話 042-642-3111 (代表)

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

